



経営の散歩道

川中経営所長 川中清司

川中清司氏の随筆「経営の散歩道」は、昭和六十三年七月号の「梅雨の晴れ間」でスタート以来、今号で記念すべき百回を数えることとなりました。

この間、経営課題をはじめ、広く文化や健康などまで鋭いペン先を向け、会員の皆さんから大好評をいただけてきました。今号では「百回記念ワイド」として、ロサンゼルスのお店街についての最新情報をお書きいただきました(氏には、今月十七日からの当所商業部会とサード・ビバリー・センターを主催のアメリカ西海岸商業施設視察団のコーディネーターをお願いしています)。

大型SCのメッカ

▼大型のショッピングセンター(SC)が乱立するロサンゼルス。

売場面積約五〇〇〇平方メートル、テナント約三〇〇程度の近隣地域型のネイバーフッドSC。商圏五〇万人を超え、駐車五〇〇〇台以上、敷地面積二五〇平方メートル、テナント一五〇以上という超大型スーパーリジョナルSC。

カテゴリーキラーと称する破格の安売り店を核に、オーブンモーターを展開するパワーセンター。そしてメーカーの直営販売店街といった感じのアウトレット。これらの大型商業集積に押されて、商店街は衰退の一途をたどっている。

個性的な商店街に注目

▼しかし、そうした大方の見方をくつがえし繁栄を誇る商店集積(街)がある。そこには魅力ある商店が軒をたらし、個性を発揮しあって集客にあふれ、地域には活気がみなぎっている。アメリカ西海岸の商業視察に

訪れる人は多いが、大型SCだけでなく、ぜひこれらの商店街にも注目してほしい。

▼今回(九六・十)の訪米に先立ち、山道公人さんから最近のロサンゼルス商業情報、特に繁栄する商店街についての情報が届いた。

山道公人さんは、ポニートラベルINCの社長で、ロサンゼルスを中心に本拠を構え、広



100回記念ワイド

ロサンゼルス街の繁栄商店街

く全米対象に旅行代理業を営んでいる。筆者とはカリフォルニア大学に学んだ当時から親交があり、訪米のたびごとに協力を頂いている。

UCLAとウエストウッド

★ウエストウッドの商店街
UCLAといえばカリフォルニア大学・ロサンゼルス校。日本でもUCLAと書いたバッグやTシャツは若者に人気がある。緑に囲まれた二六〇万平方メートルの広大なキャンパスは、三万五千人の学生の熱気をやさしく包みこんでいる。
アッカマン・大学生協には書籍・文具は勿論、日用品から衣類まで商品が豊富で映画館やボウリング場まである。
ウエストウッドのまちの商店街は、このUCLAの南一帯にひろがる。
スペイン風の白い建物のコンテンポは、カジュアルウェア、

ジーンズ、革ジャンや、レイバンのサンダラスもおいでいる。
・アーノという変わった名の店は、おしゃれ小物やインテリア小物、おもしろグッズやお土産から食品まで扱う。
・コーブランド・スポーツは、最近のスポーツ用品と衣料や靴をそろえる。
・T・ヘリテイジ・ギャラリ

をのぞくのも良い。環境問題に的を射ったアートギャラリーで、先住民の作品を展示し地球への優しさを訴えている。
★UCLAのキャンパスから西へ車で五分。ウエストサイド・パビリオンに着く。ここは、ノーストーム(高級デパート)を核に約一八〇のブティックなど専門店がそろったSCだ。

ベンチュラ通りの商店街

・四〇五号線より東側。G A

ビデオなどの店が西側に立ち並び。
・四〇五号線より西側。リニール

アルされたゲルソンスのエンシノ店をはじめ、ラルフズ・パーネス・ノーブル(最新型ブックストア)や、ミュージック・パルスなどを核とした近隣型SCを中心に、小売店が並び商店街を形づくっている。
★メルローズ通りの商店街

サンタモニカの商店街

ロサンゼルスダウンタウンから二四kmで、サンタモニカのダウンタウンにつく。
きらめく太陽、青い海と空。

Pのフリースタンドینگ、スターバックス・コーヒー、その他レストランのほか一般小売

明るさと解放感が全身を包んでしまふサンタモニカ湾。
バームツリーの並木道。南は



サンタモニカ歩行者天国

若者に人気のベニス・ビーチ。さらに南には人工のヨットハーバーを囲む高級ホテルやレストラン街のマリーナ・デル・レイ。北はスターや高額所得者が住むマリブ・ビーチなどすばらしい環境が繰り広げられていく。
・サード・ストリート・プロムナードは、いつも歩行者天国だ。ブロードウェイとウイルシャの両通りの間の三ブロックに、ブティック、ギフトショップやレストランをはじめいろいろな商店が立ち並ぶ。
・モンタナ通りとオーシャン通りの交差点あたりから広がる商店街もすばらしい。大型SCのサンタモニカ・ブレイスを核とした相乗効果で栄えている。
有名店はビック・ドッグ(スポーツウェア)、アーバン・アウト・フィッターズ(おしゃれ



石畳の小道がヨーロッパの雰囲気を演出している

ロデオ・ドライブ商店街

アメリカでも最も忙しいショッピング街——そんな表現がびつたりあてはまる商業区域だ。普通の商店街とは全く異なり、

世界的に有名な超一流のブランドのブティックなどが顔をそろえている。
そのいくつかを拾ってみよう。
・ロデオ・コレクション
カフェのある中庭を囲んで、赤レンガの建物が建っている。ヴェルサーチ、フィラ、モンディなどのブティックや、美しいめがねの店アーレン・アルトコンもある。
・トウー・ロデオ・ドライブ
ウイルシャとビバリーの両通りの交差した一角。カルティエなどのブティックが集まる。石畳の小さな道を歩いていると、ふとヨーロッパの街角が思い浮かんでくる。
有名店をいくつか挙げてみよう。
・カルティエII宝飾品、宝石、時計などヨーロッパ貴族風の商品そろえる。
・ルイ・ヴィトンII LとVのロゴと麦の穂。上流階級が愛用したという伝統の旅行カバンなど。日本人にも大変人気だ。
・シャネル、コクピット……など、エレガントなショッピングのムードをかもしだしている。

日米流通の相違点

項目	米	国	日	本
営業形態	営業と住まいの分離	企業	営業と住まいが同じ	生業
立地	道路沿い	モール化	自然発生的	無計画
客層	多人数種	所得格差	異文化	同系文化
ブライズゾーン	格差がありすぎる		格差があまりない	
代金支払い	60%カード		ほとんどが現金	
許認可条件	大型SCで7~8通申請		大型SCで150通前後の申請	
労働賃金	65%~75%(実質)		100%(ボーナス退職金含)	
地価	20分の1以下		100%	
電気料	35%		100%	
ガソリン代	40%ぐらい		100%	